

(指定校番号 0646) 新潟県立柏崎高等学校

『SSH 大韓民国 海外研修』仕様書

1. SSH 海外研修に係る提案資料提出のお願い

平素より、新潟県立柏崎高等学校（以下、本校）の教育活動に対しご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校では SSH 事業の一環として、以下の目的・内容による『SSH 大韓民国 海外研修』を企画しております。つきましては、本仕様書に基づき、8-1 に記載の資料を提出いただきたく、ご協力の程よろしくお願いたします。

2. 実施目的

本校と姉妹校提携を結んでいる韓国の科学重点校である新道林高校を訪問し、研究発表会や異文化交流を通じて、本校生徒の課題研究の深化や英語など外国語によるコミュニケーション能力の向上および国際的な視野を持つ科学技術人材の育成につなげることを目的とする。

また、両校の国際共同課題研究の実現により、両校の教育交流の一層の発展を目指す。2年前の新道林高校への訪問の際は、両校の共同研究の実現に向けての様々な情報交換を行ったが、今回の訪問では、共同研究のやり方について具体的な形を示し、次年度からの共同研究実施を目指して一歩を踏み出す機会とする。

さらに、韓国最大の科学館である国立果川科学館を訪問し、常設展示館 8 館のうち、本校の SSH 第Ⅳ期の研究開発テーマである「海とエネルギーのまち柏崎から総合知を活用して課題を解決できる国際性豊かな人材の育成」に合致した「科学探究館」、「未来想像 S F 館」、「韓国科学文明館」、「先端技術館」の 4 館を中心に、現地ガイド（専門学芸員）の指導のもと、「日常の自然現象から問題を見つけて探究する手法」、「韓国文明と科学技術の関係」、「未来科学文明（ロボット、人工知能、エネルギー、環境）」、「原子力と再生可能エネルギーの原理と技術」、「未来の繊維」などについて研修し、総合知を活用した課題研究の深化につなげる。

3. 実施期間

令和 6 年 12 月 19 日（木）～令和 6 年 12 月 21 日（土）（2 泊 3 日）

4. 訪問先

月日（曜日）	都市名	施設名等
12/19(木)	大韓民国・ソウル特別市	新道林高等学校
12/20(金)	大韓民国・ソウル特別市	新道林高等学校（午前）
12/20(金)	大韓民国・京畿道果川市	国立果川科学館（午後）
12/21(土)		なし（帰国）

5. 参加予定人数(見込)

生徒	12名 (男子：6名、女子：6名)
引率教職員	2名
外部講師	0名
<hr/>	
合計	14名

6. 行程案

別添『SSH 大韓民国 海外研修』行程表』を参照のこと。

7. 手配内容及び経費

7-1. 手配内容

本校が企画した研修計画に即した交通手段や宿泊施設等の手配をすること。

7-2. 経費

1) 交通費

①航空運賃

ア 別添の行程表の全行程において、エコノミークラスを利用とすること。

イ 航空保険料を含めること。

ウ 乗り継ぎによる時間のロスを可能な限り避け、円滑な移動となるよう考慮すること。

②国内空港施設使用料・税等

日本国内の空港を使用する際に発生する施設使用料や税等について、見積りに含めること。

③国外空港施設使用料・税等

訪問国・地域の空港を使用する際に発生する施設使用料や税等について、見積りに含めること。

④燃油サーチャージ

燃油サーチャージについて、8月1日時点の金額で計上すること。なお、見積り合わせの結果決定した業者には見積書の再提出を求める。その際は請求時に上限となり得る金額を記載すること。

⑤現地移動費

ア 現地での移動は原則貸切バスとして旅程を提案すること。

イ バスは、荷物などを置くスペースも考慮し、20名程度乗車できるものとする。

⑥国内移動費

ア 柏崎高校と新潟空港間の往復は、貸切バスでの移動とすること。

イ バスは、荷物などを置くスペースも考慮し、20名程度乗車できるものとする。

⑦国際観光旅客税（出国税）

国際観光旅客税（出国税）を見積に含めること。

2) 宿泊料

- ・安全面及び健康面に十分配慮して宿泊施設を選定すること。
 - ・行程全般を考慮し、適切な宿泊地内の適切な場所とすること。
 - ・生徒と引率教職員が同一の宿泊施設に宿泊すること。
 - ・生徒は一室2～3名、引率教職員は一室1名で提案とすること。
 - ・2日目(12/20)の夜に研修の振り返りを行うため、ホテル内会議室を1室手配すること。
手配時間：20:00～21:30
 - ・見積書には、宿泊施設ごとに記載すること。
 - ・宿泊料は素泊料金で計上すること。
 - ・宿泊税がかかる場合は、宿泊料と合算して計上すること。
- ※食事等は「3) 食事代」を参照し、食事代の項目に計上すること。

3) 食事代

- ・1人あたりの研修期間中の食事代総額を単価として見積に計上すること。
- ・機内食は航空運賃に含め、本項目では計上しないこと。
- ・予算は以下のとおりとする。

生徒 1人あたり 10,000円程度（3日間 6食分）

引率教職員 1人あたり 10,000円程度（3日間 6食分）

食事の手配内訳

月日（曜日）	食 事 場 所		
	朝 食	昼 食	夕 食
12/19(木)		手配不要（各自持参）	市内レストラン
12/20(金)	ホテル または 市内レストラン	市内レストラン	市内レストラン
12/21(土)	ホテル または 市内レストラン	弁当（機内食がある場 合は手配不要）	

4) 入場料、研修費用等

研修にかかる以下の費用を見積に計上し、旅行業者から研修先に支払うこと。

なお、下記の金額は、7/25現在の1ウォン=0.11円で計算しているが、見積書は8月1日時点の相場とする。

ア 国立果川科学館 入館料

生徒：220円、引率者：440円

イ 国立果川科学館 特別プログラム研修料

業者選定（プロポーザル）時の見積書では本研修料は0円で計上すること。

業者決定後、決定業者の仲介のもと、本校と国立果川科学館の話し合いで決定する。この際の仲介料は5) 諸経費-④の旅行企画料に含めること。

5) 諸経費

①現地ガイド

- ・令和6年12月20日(金)に国立果川科学館で予定されている研修について、生徒の理解を助け、円滑な研修を実施するためにも、展示物について専門知識があり、日本語または英語で説明できる現地ガイド(専門学芸員)1名を手配すること。
- ・現地ガイドが必要な日時
令和6年12月20日(金) 14:00～16:00

②添乗員

- ・訪問国(現地)における安全確保と研修を円滑に実施するために韓国語と日本語の通訳が可能な現地添乗員を1名手配すること。
- ・現地添乗員が必要な日時
令和6年12月19日(木)仁川空港到着時～12月21日(土)仁川空港出航時
- ・国内移動時において、航空機の欠航・遅延や交通の乱れ等の緊急時に迅速なサポートが必要なため、国内移動時の添乗員を1名手配すること。
- ・国内移動時の添乗員が必要な日時
令和6年12月19日(木)柏崎高校出発～新潟(国内)空港出発時まで
令和6年12月21日(土)新潟(国内)空港到着時～柏崎高校到着時まで

③携帯電話料

- ・訪問国・地域で使用可能な携帯電話を1台貸与すること。
- ・携帯電話料は「引率教職員分」の見積りに計上すること。
- ・1台あたり60分の通話料を含むこと。

④旅行企画料

7-3. その他

- 1) 渡航手続きの代行事務及びその他研修に係る一切の事務を請け負うこと。
- 2) 生徒、保護者向けの説明会を実施1カ月前までに本校内で開催すること。
- 3) 参加者予定者のうち、参加できなくなった者にかかる費用については、いわゆる取消料のみを請求することとし、本校と協議の上、帰国後に精算処理を行うこと。
- 4) 契約書及び請求書への記載事項等については、本校の指示に従うこと。
- 5) 海外旅行保険・欠航保険については、後日下記の条件で決定業者に依頼する予定のため、本件見積には含めないこと。

ア	傷害死亡保障金額	1,000万円
イ	傷害後遺障害保険金額	2,000万円
ウ	傷害治療保険金額	無制限
エ	疾病治療保険金額	無制限
オ	疾病死亡保険金額	2,000万円
カ	賠償責任保険金額	1億円
キ	救援者費用	無制限
ク	航空機遅延費用補償	5万円
ケ	航空機寄託手荷物遅延等費用	3万円

8. 提案書・見積書の提出について

8-1. 提出資料

8-3. の提出期限までに提案書と見積書を提出すること。

1) 提案書（業者様式）

提案書には以下の項目を含めること。

①本件の仕様書に沿った行程表

②安全対策を記した資料

・本校との連絡・事前協議などの体制（受注後、本校担当者と直接打合せできる体制があること）の提示

・緊急時の対策（危機管理体制）の提示、事故対応の具体策（非常時マニュアル）の提示

③研修先各地に最寄りの支店または現地法人の案内を記載した資料

④利用予定宿泊施設の資料

（宿泊する場合、要求されている周辺環境・設備・部屋・会議室等がわかる資料、複数案可。宿泊施設指定の場合も提出のこと）

⑤営業担当者の実績・資格等を記載した資料

⑥添乗予定者の実績・資格等を記載した資料

⑦現地ガイド予定者の実績・資格等を記載した資料

⑧人員減の対処方法（取消料収受の規定等）を記載した資料

⑨会社概要

2) 見積書（SSH 様式 4-3）

本校が提示した見積書の様式を使用し、記載項目の費用を計上すること。

8-2. 提出部数

「8-4. 提出先」に「電子データ（PDF）」及び「紙媒体 10部」を提出

8-3. 提出期限

令和6年8月14日（水曜日）必着で郵送または16:30までに持参のこと。

提案書と見積書を提出ができない場合は、参加辞退届を提出すること。

8-4. 提出先

本校担当教員 吉樂 雅典（Email: kira.masanori@gs.nein.ed.jp）

8-5. 提案書説明会日程

提案書と見積書を提出後、本校内で説明会を実施すること。

予定日 令和6年8月16日（金曜日）10:00～

9. 支払について

本研修については、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）がスーパーサイエンスハイスクール支援事業として費用の一部を支援する予定である。

JST が支援する額は、研修実施後に精算額が確定し、請求書類等の原本を JST が受領した日の属する月の翌月末までに支払われる予定である。

生徒負担分及び本校負担分については、令和7年1月31日までに支払う。

10. その他

本仕様書に定める内容と旅行条件書の内容に相違がある場合は、本仕様書に定める内容を優先とする。

11. 本件問い合わせ窓口

新潟県立柏崎高等学校 SSH 部 担当教員 吉樂 雅典 (TEL : 0257-41-6389)

以上